

残り者

朝井まかて＝原作『残り者』（双葉文庫）
朱海青＝脚本
鶴山仁＝演出

大奥—、そこは誇り高き女たちが心血を注ぐ仕事場、そして家！

1868年4月、「江戸城明け渡し」の沙汰を受け、誰もいなくなったはずの大奥。

呉服之間に何故か居残ってしまった御針子の「りつ」は、仲居の「お蛸」、御三之間の「ちか」と共に、天璋院（篤姫）の愛猫「サト姫」を探す羽目に。サト姫を追って大奥をさまよう三人が出会ったのは、京女の御針子「もみぢ」と、皆の憧れ、御中臈の「ふき」。

それぞれの過去と想いを抱きながら、ともに大奥最後の一夜を過ごすことになった五人の女たちが見出した未来への希望は…？



西川かずこ

江林智施

北澤知奈美



浜名実貴

黒河内雅子

有田佳代



清水麻美

毬谷友子

1980年、宝塚歌劇団に入団し、85年の退団後は女優として活躍。『SESSUE』『真夏の夜の夢』で第39回芸術選奨文部大臣新人賞、『贋作・桜の森の満開の下』『弥々』で第27回紀伊國屋演劇賞個人賞、『弥々』で第57回文化庁芸術祭優秀賞など受賞多数。近年の主な舞台に、こまつ座公演『日の浦姫物語』など。



彼女たちの感情 朝井まかて

江戸の女性たちは身分を問わず、よく働きました。庶民の間では見目形のみならず甲斐性のあることがモテる条件になりましたし、武家の妻たちも家の交際、家政に手腕を揮いました。そんな働く江戸の女性のトップクラスが江戸城大奥の奥女中で、すなわち江戸のキャリアウーマンの華でした。

ところが幕府の瓦解によって、江戸城は新政府軍に明け渡されることとなります。現代の私たちは有名な「無血開城」だと知っていますが、慶應4（1868）年当時では江戸城が総攻撃され、市中が戦火に焼かれる可能性は多分にあったのです。むろん大奥で暮らす者たちにも、立ち退き命令が下されました。一生を懸ける覚悟で奉公に励んできたというのに、その職場・生活の場から突如として追われるのです。その心中はいかばかりであったらうと想像を巡らせたことが、『残り者』という小説を書く契機となりました。

主人公は五人の女たち。役職も出自もそれぞれ異なりますが、危険を承知しながら御殿に留まってしまいます。残り者たちです。そして天璋院篤姫の飼い猫であった、一匹の白猫も。

このたび前進座さんが、この『残り者』を原作として舞台化して下さることになりました。歴史劇・時代劇においては今も白眉の劇団ですから、前進座の女優さんたちが『残り者』をどう演じて下さるか、胸が躍ります。激動の世を生き抜いた女たちの、たった一日の戦いなのです。150年前の感情を、欲びや悲しみや不安、強さを、舞台と客席が一体となって共有する瞬間を楽しみにしています。

そして、女性たちが主人公のこの舞台が、前進座の次代を開く挑戦にもなりますように願います。

装置＝乗峯雅寛 照明＝石島奈津子 音楽＝上田亨

衣裳＝原まさみ 映像＝浦島啓 効果＝横山あさひ

宣伝メイク＝yasue 水口美穂 デザイン＝市川きよあき事務所 宣材写真＝三井実

制作＝楠脇厚子 小林美千枝 ©朝井まかて／双葉社

2020年10月

14日(水) 府中の森芸術劇場 ふるさとホール

21日(水) 大田区民ホール・アプリコ 大ホール

26日(月)～29日(木) 浅草公会堂

31日(土) 武蔵野市民文化会館 大ホール

●ご観劇料金(全席指定・税込)

A席8,000円/B席5,000円/C席3,000円

ユースチケット(30才以下)3,500円

※C席は浅草公会堂・大田アプリコのみとなります

14(水) 21(水) 26(月) 27(火) 28(水) 29(木) 31(土)
府中 大田 浅草 浅草 浅草 浅草 武蔵野

11:00				●			
13:00					●	●	
14:00	●	●	●				●
15:00				●			
18:30					●		

●チケット販売

前進座チケット専用 0422(49)0300 (10:00～17:00 日祝第2・4土休)

前進座ウェブサイト <http://www.zenshinza.com/>

チケットぴあ <https://t.pia.jp/> および各所店舗

イープラス <https://eplus.jp/>

カンフェティ <https://www.confetti-web.com/>

0120-240-540(平日10:00～18:00)



●お問合せ・お申込み

前進座東京事務所 TEL:0422-49-0300(10:00～17:00/土日祝休) / FAX:0422-45-0312

E-mail:tokyo@zenshinza.com 前進座 〒180-0003 東京都武蔵野市吉祥寺南町2-4-3 前進座ビル